

B型肝炎の治療—Sequential Therapy について

[_____]さま

【現在の状態】

- あなたは[_____]年から抗ウイルス薬の内服を続け、現在はウイルスが鎮静化しています。薬剤によってそれほど悪くない状態になってはいますが、ずっとお薬を飲み続けなければいけないというところが、問題です(ですよ?)。
- 工夫なしに薬を中断した場合、ほとんどの場合肝炎が再燃することは証明されています。時に内服前の状態よりも悪化し、劇症肝炎にいたる例もあります。でも、みな「止められるもんなら止めたいなあ」と思っています。
- 薬剤を離脱するための様々な試みがなされています。「シーケンシャルセラピー」という方法が、現在注目されています。薬剤中止の一か月前から半年間インターフェロン治療を併用し、自分の免疫力をインターフェロンで賦活化して、ウイルス薬の助けなしにウイルスを抑え込もうとします。
- 残念ながら成功率は100%ではありません。ウイルスが再び再燃した場合は、ウイルス薬を続けることを余儀なくされます。
- シーケンシャルセラピーの条件は以下の通りです(2012年ガイドラインより)

抗ウイルス薬を投与してから2年以上経過している方

現在血液中のHBV-DNA(ウイルス)が陰性化している方

現在 HBe 抗原が陰性の方

さらに血液中のウイルスのマーカーによって、成功率が異なります。

- 血液中のHBs抗原量(CLIA法)が少ない
- HBVコア関連抗原量が低い 方では、高い成功率が期待できます。

- インターフェロン治療は週一回の定期注射であり、また発熱や全身の倦怠感なども副作用もあります。抗ウイルス薬の治療に比べると、決して楽でも安全な治療でもありませんが、期間限定のこの治療により、「一生のまなけばいけない」といわれている抗ウイルス薬をやめられるかもしれません。
- このシーケンシャルセラピーに関しても 抗ウイルス薬と同じく、公費助成が認められています。
- ご興味のあるかたはご相談ください。

上記内容を説明しました。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 科